

令和7年度

岩 国 市 自 治 会 ア ン ケ ー ト

報 告 書



岩 国 市

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	
(1) お住まいの地域	2
(2) 年齢構成	2
(3) 在任年数	3
(4) 加入世帯数	3
(5) 自治会加入率	4
(6) 自治会長手当	5
(7) 自治会長の選出方法	6
(8) 自治会活動の従事日数	7
(9) 自治会費	7
(10) 自治会の収入財源	8
(11) 自治会の支出経費	9
(12) 自治会活動の内訳	10
(13) 今後取り組みたい自治会活動	10
(14) 住民同士の交流	11
(15) 自治会活動の意義	12
(16) 未加入者への働きかけ	12
(17) 退会者対策	13
(18) 自治会活動上の悩みや課題	13
(19) 自治会活動の課題の解決に向けて	14
(20) 自治会運営の見直しと工夫	15
(21) 自治会の解散と統合	16
(22) 将来の自治会運営に対する不安	17
(23) 電子化・デジタル技術の活用への関心	17
(24) 電子化・デジタル技術の活用事例	18
(25) 今後活用したい電子化・デジタル技術	19
(26) その他自治会の取組やご意見	20

I. 調査の概要

1 目 的

岩国市内の自治会に関する情報を収集し、様々な取組事例・運営方法を各自治会へ共有するとともに、今後の活動に役立てていただくことを目的としています。

2 調査対象

岩国市内全 778 自治会

3 調査期間

令和 7 年 10 月 31 日（金）から 12 月 1 日（月）まで

4 調査方法

各自治会へ郵送配布、郵送回収とインターネット回答

5 回 答 率

80.98%（アンケート回答 630 自治会）

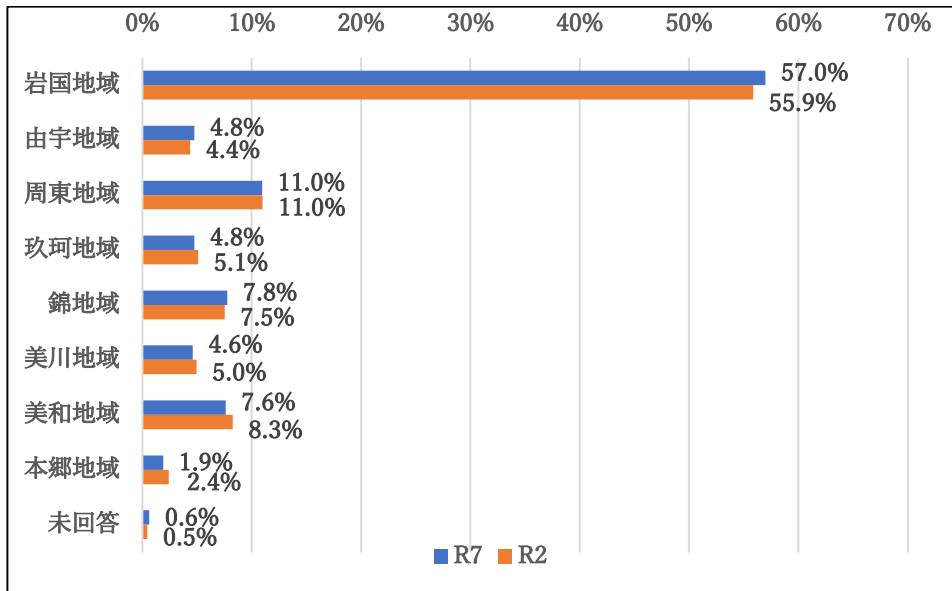
※郵送回答 514 件（81.6%） インターネット回答 116 件（18.4%）

6 報告書の見方

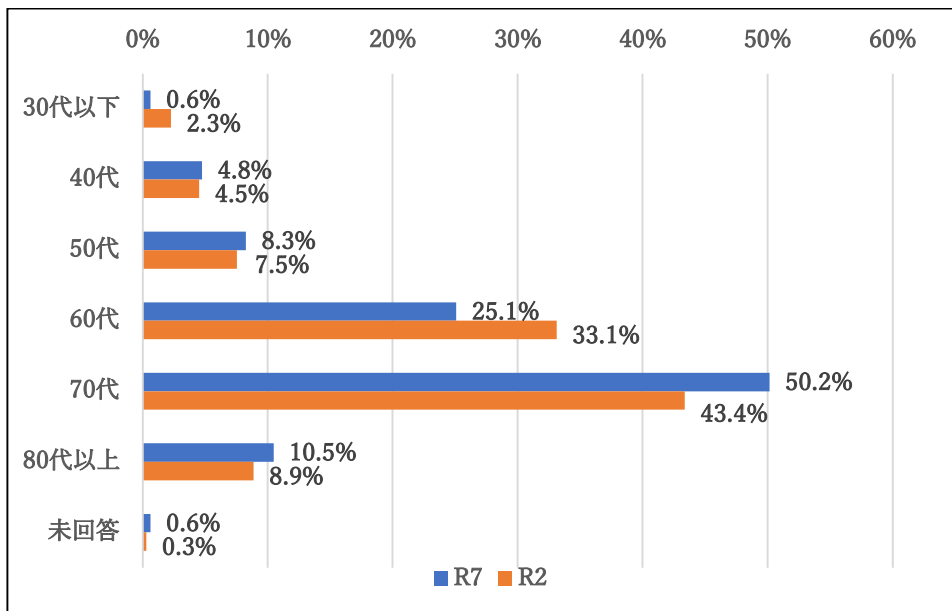
- 本報告書では設問ごとに全体の集計結果を記載しています。
- 令和 2 年度に実施したアンケートと重複する設問は、比較できるよう前回のデータと合わせてグラフにしています。
- グラフ中の回答の比率（%）は、回答自治会数（630 自治会）を基礎として算出しています。また、少数第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100% とならない場合があります。
- ※複数回答が可能な設問については、設問ごとに回答自治会数（630 自治会）を基礎として算出しています。

II. 調査の結果

(1) 自治会の地域はどこですか。



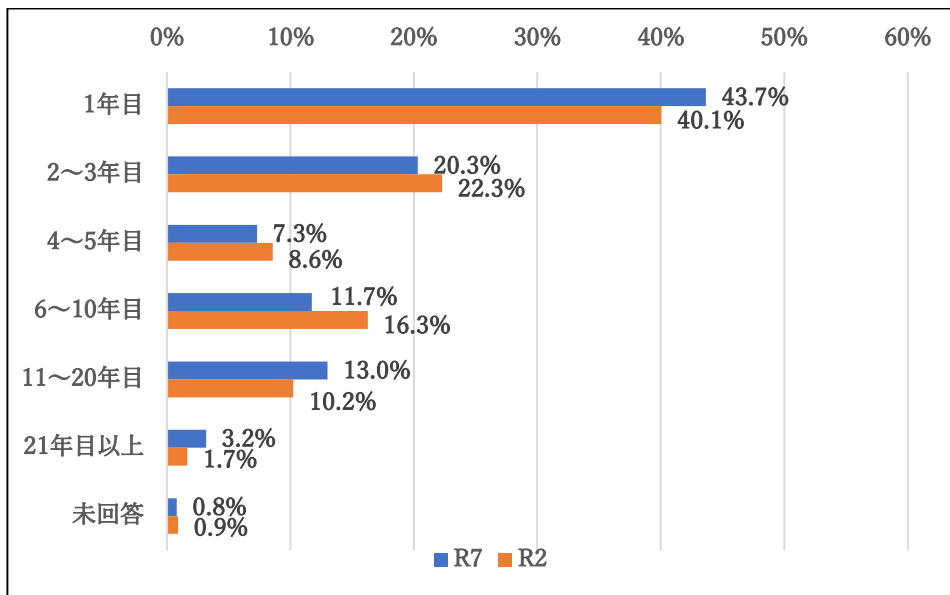
(2) 自治会長（あなた）の年齢を教えてください。



【調査結果から】

令和2年度の調査と比較して、30代以下の自治会長の割合が1.7%減少したものの、40代、50代は大きな変化はなかった。一方、60代の割合は8.0%減少し、70代以上は8.4%増加していることから、高齢化の傾向が認められる。

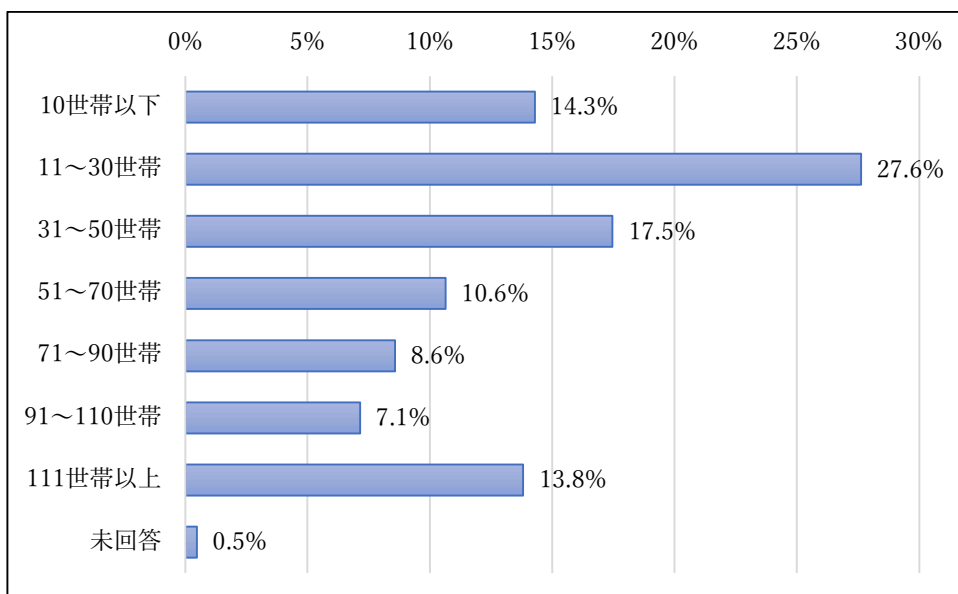
(3) 自治会長になられて何年目になりますか。(連続して務めている年数)



【調査結果から】

令和2年度の調査と比較して、「1年目」、「11～20年目」、「21年目以上」の自治会長の割合が増加した。このことから、自治会長の任期の関係により、経験年数の二極化の傾向が認められる。

(4) 自治会の加入世帯数を教えてください。



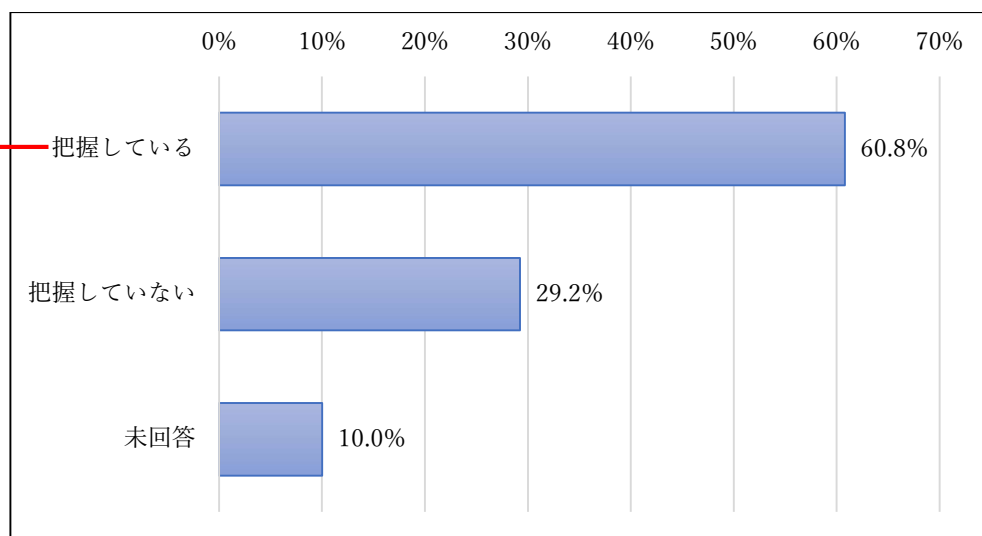
【調査結果から】

比較的規模が小さい30世帯以下の自治会の割合が41.9%となり、比較的規模の大きい90世帯を超える自治会の割合は、20.9%となっている。

(5) 自治会の加入率を把握していれば教えてください。

※加入率：加入世帯数 ÷ (加入世帯数 + 未加入世帯数)

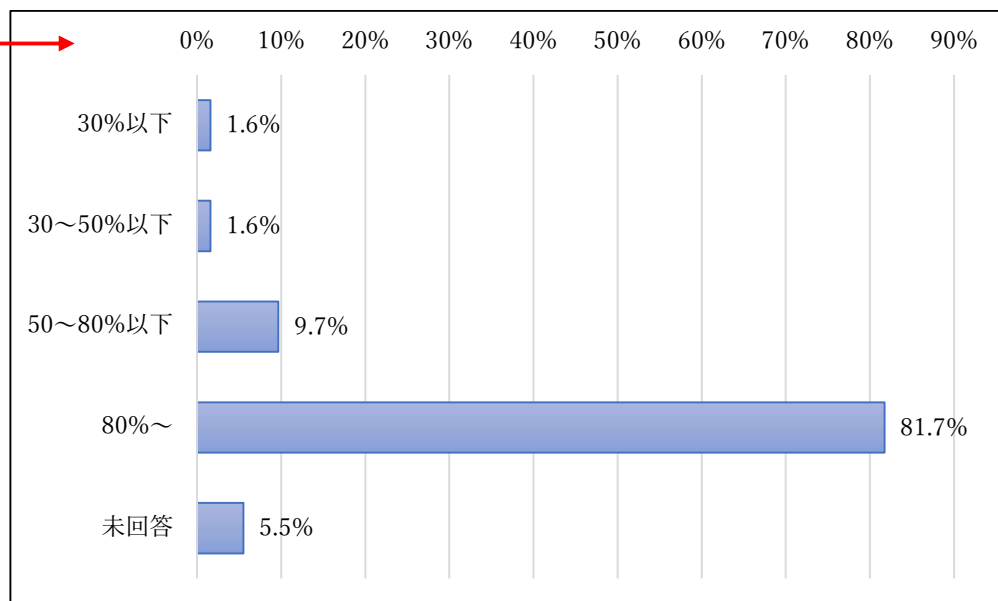
①把握の有無



【調査結果から】

自治会の約6割が自治会加入率を把握していることが認められる。

②加入率の集計 (回答数：383件)

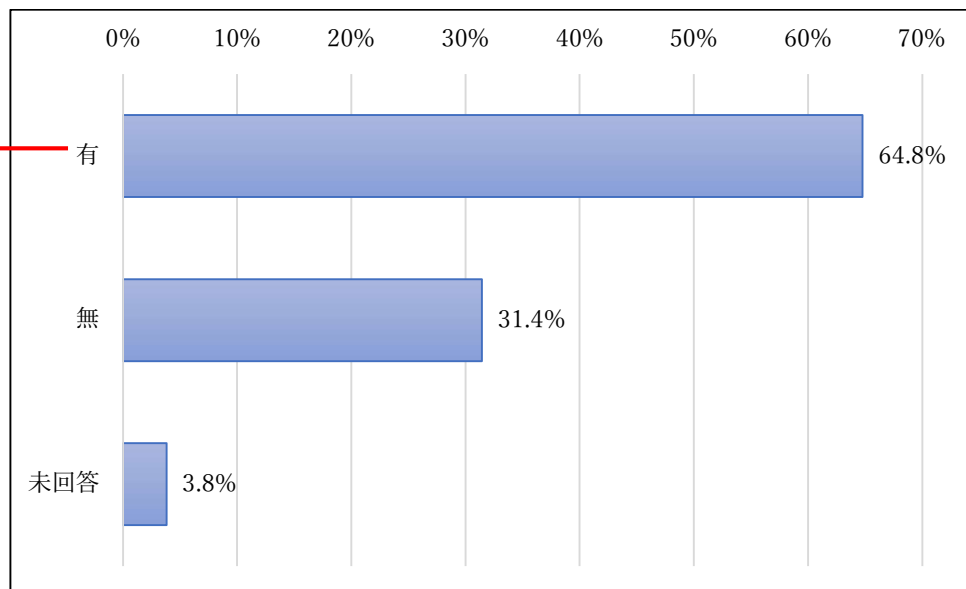


【調査結果から】

加入率を把握している自治会のうち8割以上が自治会加入率80%を超えている一方、加入率が50%を下回る自治会は約3%あることが認められる。

(6) 自治会長への手当（報酬）などがありますか。

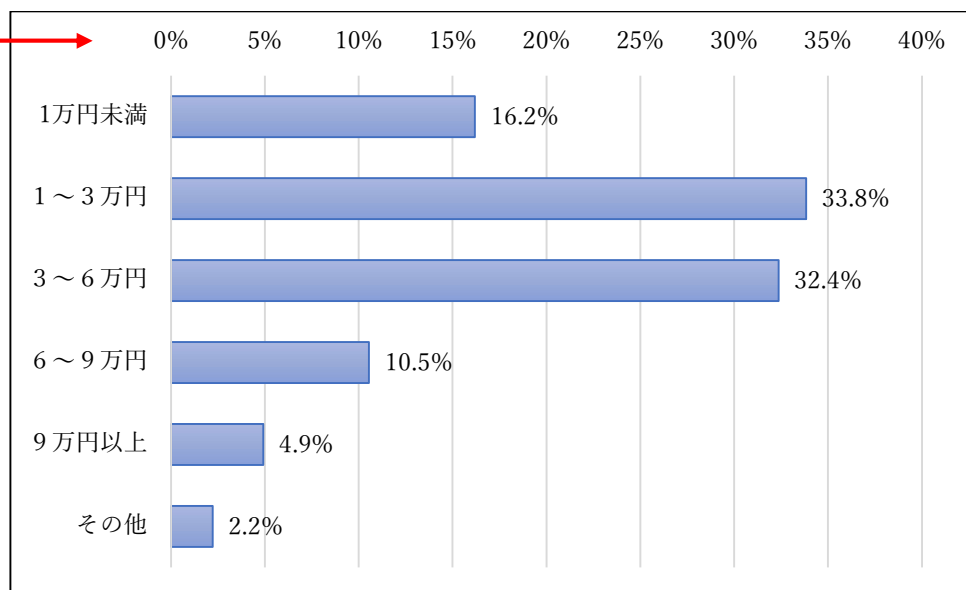
① 手当の有無



【調査結果から】

自治会長の約3割が手当（報酬）の支給がないことが認められる。

② 手当の金額（年額）（回答数：408件）



平均値 32,754 円 中央値 26,740 円

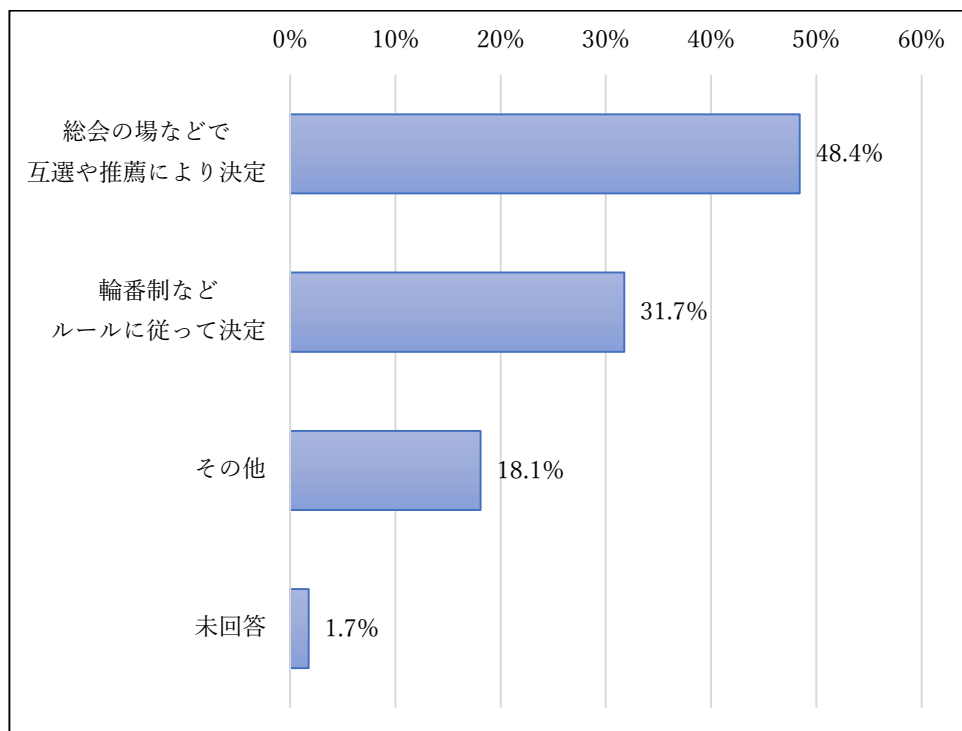
※中央値：データを小さい順に並べたときに、中央に位置する値のこと。

【調査結果から】

回答で多いものは年額で「1～3万円」、「3～6万円」であることが認められる。

※「その他」で回答があったのは、広報紙等配布に係る報償金がほとんどで、具体的な金額の明記がなかったため、平均値や中央値の算定にも含めていない。

（７）自治会長はどのように選出していますか。



【調査結果から】

自治会の約半数が総会の場などで互選や推薦による選出をしている。輪番制などのルールやその他の選出については下記にまとめた。

①「輪番制などルールに従って決定」している自治会のルール（主要な回答）

- ・交代、順番、交互、輪番での選出（１～３年毎）
班単位で選出している自治会は、これに加えて、班の中から候補者を選出するため等で、「くじ引き」、「推薦」、「話し合い」などのルールを同時に取り入れている自治会も見られた。
- ・「くじ引き」、「選挙」、「入会順」、「入居順」、「年齢順」によるルールによって選出する。

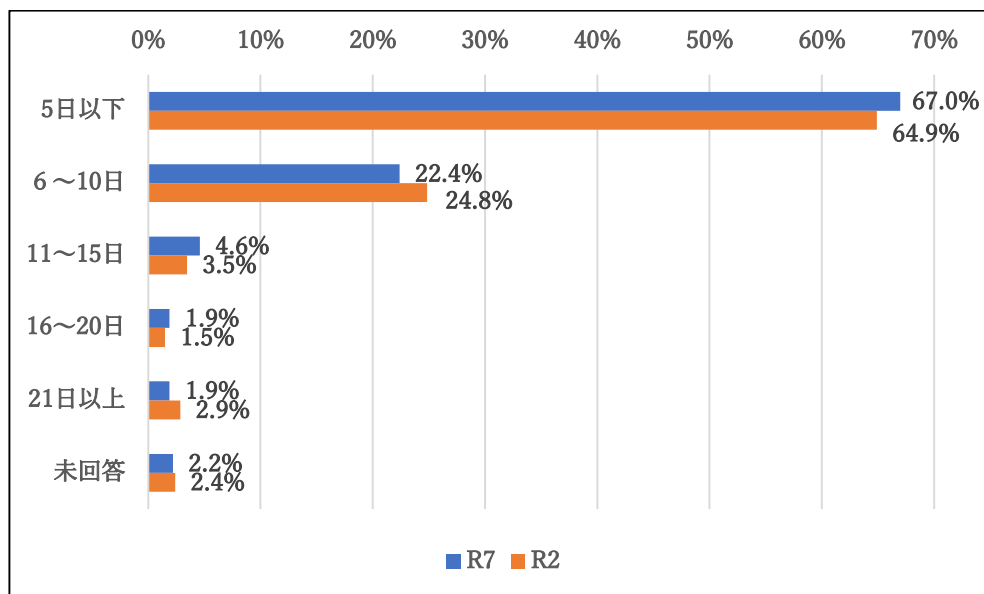
※上記のルールに、次のような追加条件を付している自治会も見られた。

- ・過去に一定期間役員等を務めたことのある人、高齢者、離別等による一人暮らし世帯は役員を免除する。
- ・役員等を過去に務めたことのない人や若年層に優先して就任してもらう。

②「その他」と回答した自治会の主要な回答

- ・「前任者による依頼や指名、推薦」が最も多く、その他は「なり手がいないため、仕方なく自身が続けている」や「半ば強制された」との回答であった。

(8) 自治会関係の活動に月に何日ぐらい従事されていますか。

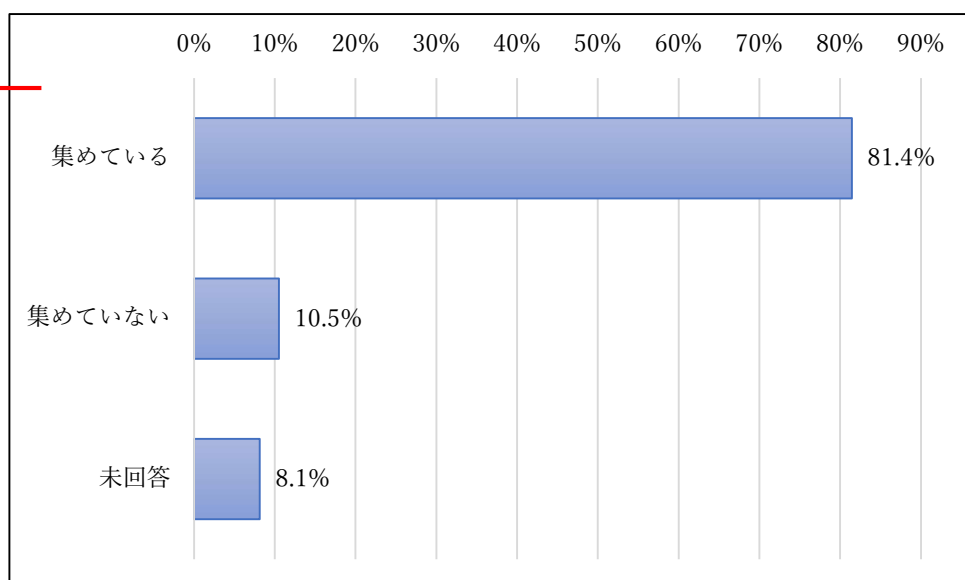


【調査結果から】

令和2年度の調査と比較して、大きな変化は認められなかったが、前回よりも増加（1%以上）したのは「5日以下」、「11～15日」で、前回より減少（1%以上）したのは「6～10日」であった。

(9) 自治会費は、1世帯あたりいくらですか。（寄付金や募金などを除き実質の金額を記入してください。）

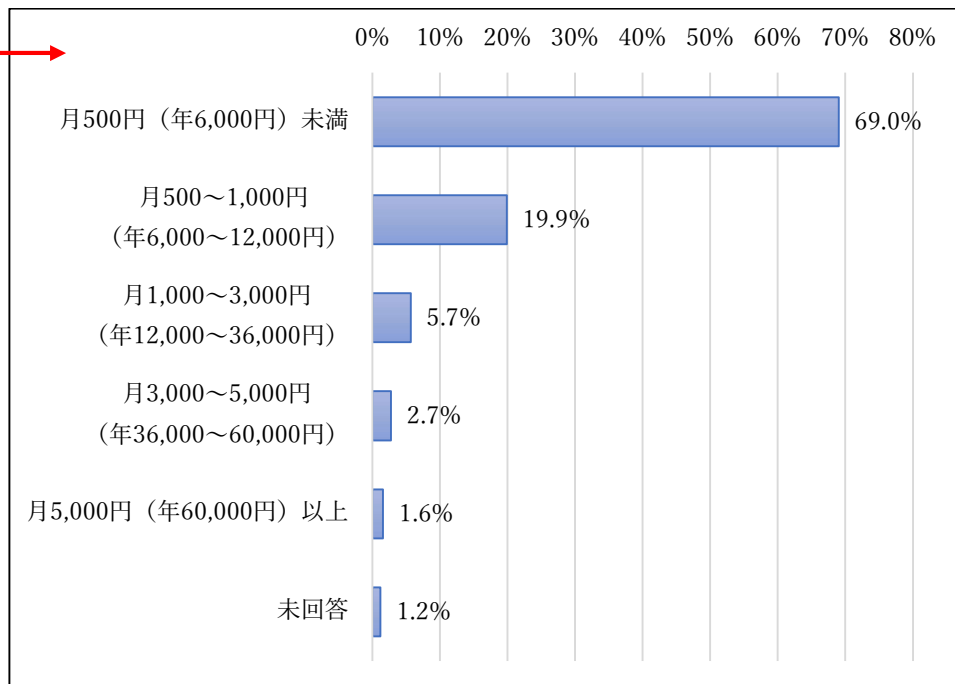
①自治会費の徴収の有無



【調査結果から】

8割以上が自治会費を徴収し、自治会費を徴収していない自治会は1割程度あることが認められる。

②徴収している自治会費の金額（集計）（回答数：408 件）



（自治会費）

平均値 7,234 円（年額）
602 円（月額）

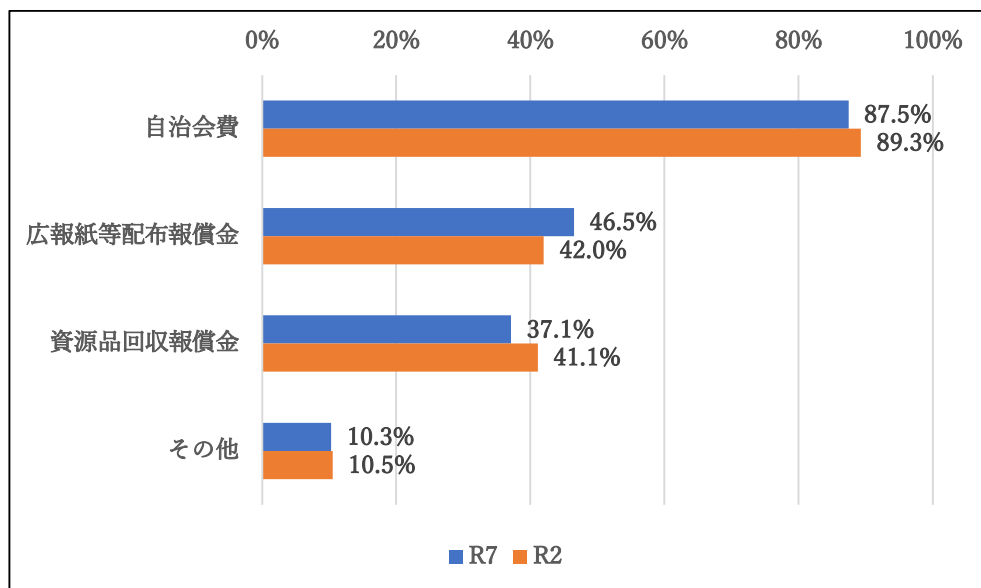
中央値 4,000 円（年額）
333 円（月額）

※中央値：データを小さい順に並べたときに、中央に位置する値のこと。

【調査結果から】

月額 1,000 円（年額 12,000 円）未満の自治会が約 9 割を占めている。また、月額 500 円（年額 6,000 円）未満に絞ると約 7 割を占めている。平均値と中央値では、年額で約 3,000 円の差があり、自治会費の高いものが平均値を引き上げていると考えられる。

（10）自治会の主な収入財源は何ですか。（複数回答可）



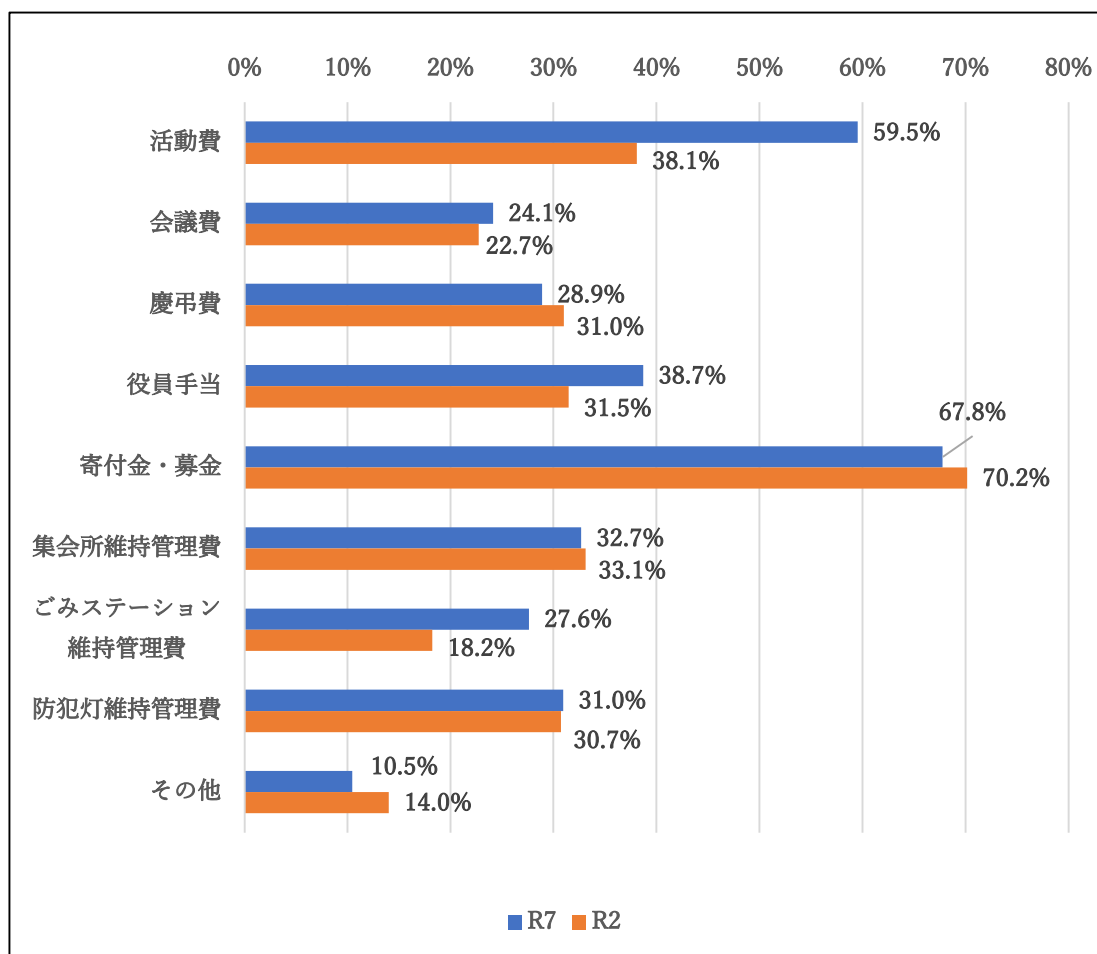
【調査結果から】

令和２年度の調査と比較して、大きな変化は認められなかったが、「広報紙等配布報償金」の回答割合が 4.5%上昇し、「資源品回収報償金」が 4.0%、「自治会費」は 1.8%減少した。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・ 供用会館の指定管理料
- ・ 公園の維持管理に係る報償金
- ・ 共益費、協力金、寄付金
- ・ 自治会連合会からの助成金

(11) 自治会の主な支出経費は何ですか。（複数回答可）



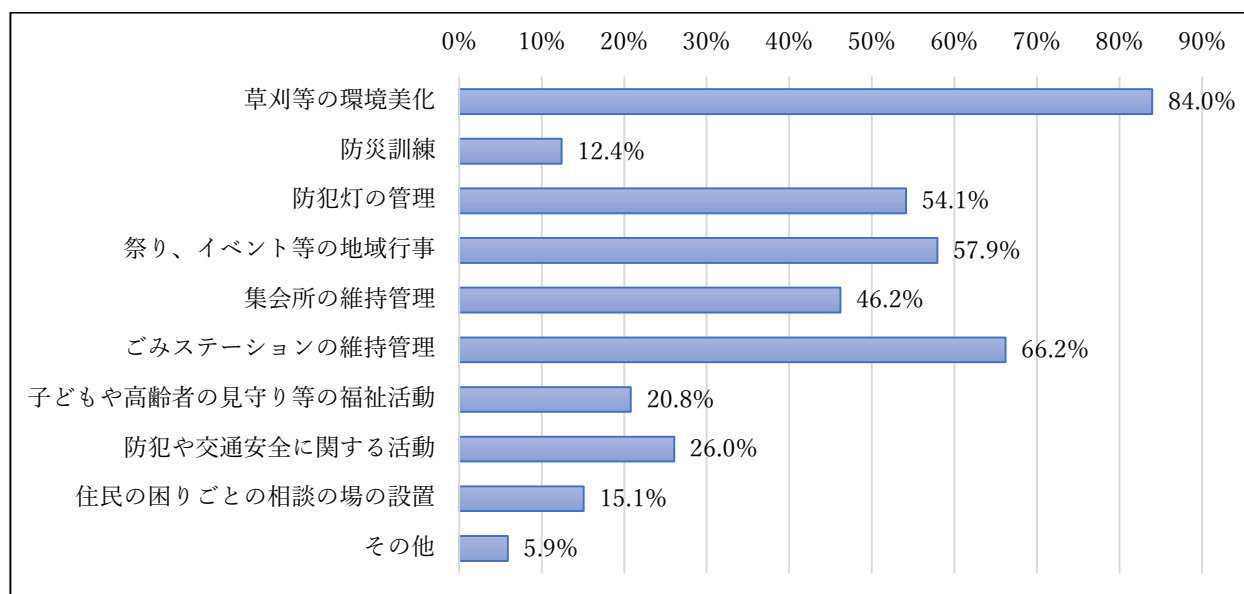
【調査結果から】

令和２年度の調査と同様、「寄付金・募金」の割合が最も多い結果となった。前回の調査と比較して、「活動費」がコロナ禍の影響もあり 21.4%増加し、また、「ごみステーション維持管理費」が 9.4%増加、「寄付金・募金」が 2.4%、「慶弔費」が 2.1%減少した。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・ 道路や公園等の清掃、集会所の維持管理費
- ・ お祭りや敬老会、花見等の地域行事の運営費
- ・ 地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、子供会等の地域団体への会費、負担金
- ・ 神社の維持費、行事費
- ・ 災害時のための積立金

(12) 自治会で実施している活動はどのようなことをされていますか。(複数回答可)



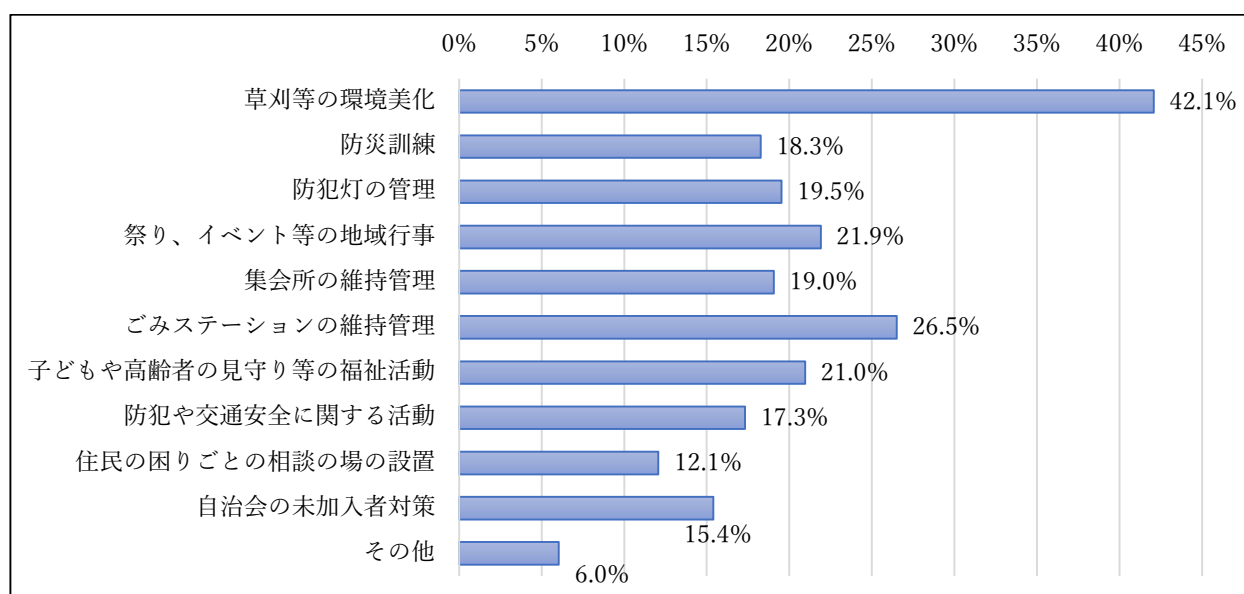
【調査結果から】

最も多かった回答は「草刈等の環境美化」が84%で、「ごみステーションの維持管理」、「祭り、イベント等の地域行事」、「防犯灯の管理」と続いた。こうしたことから、地域住民の身近な環境や生活に直結するものに対して、積極的に取り組まれていることが認められる。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・地域の空き家対策・見守り
- ・敬老会、高齢者サロン、一人暮らしの高齢者への声掛け
- ・連絡網の作成、災害の危険個所周知活動による災害等への備え
- ・あいさつ運動・地区の安全パトロール

(13) 今後、取り組みたい活動は何かありますか。(複数回答可)



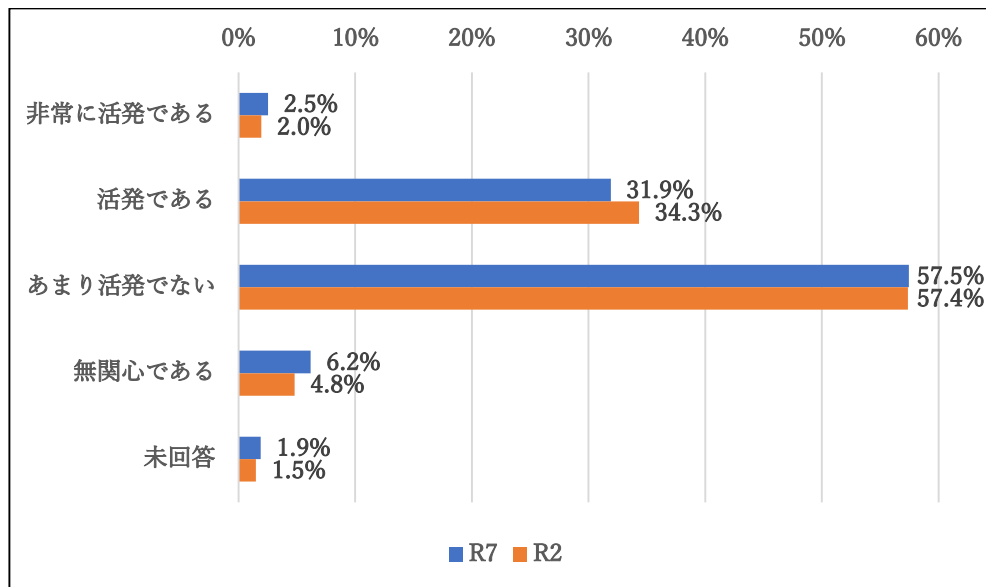
【調査結果から】

前問同様、多かった回答として「草刈等の環境美化」、「ごみステーションの維持管理」、「祭り、イベント等の地域行事」と続き、前問では比較的割合が少なかった「子どもや高齢者の見守り等の福祉活動」、「防災訓練」、「住民の困りごとの相談の場の設置」の割合が高くなり、今後の取組への関心が高いことが認められる。

○「その他」として記載された主な内容は、下記のとおり。

- ・「団地内のカーブミラー取替」、「防災セミナーの実施」など地域の安心・安全のための活動
- ・「自治会運営等のIT化」、「自治会資料の英語化」など自治会運営に関する取組。
- ・「婦人会・子供会の復活」、「子どものつどいの機会提供」、「グランドゴルフ」など多世代における交流活動。

(14) 自治会は、住民同士の交流が活発ですか。

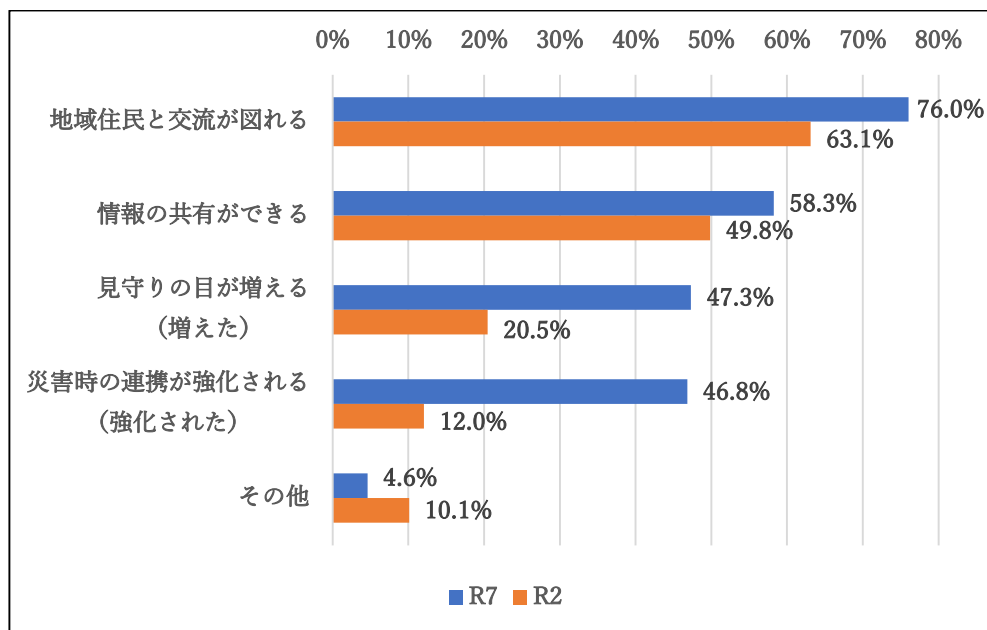


【調査結果から】

令和2年度の調査と比較して、「非常に活発である」と「活発である」が合わせて34.4%で1.9%の減少、「あまり活発でない」と「無関心である」を合わせて63.7%で1.5%の増加となっており、住民同士の交流が低下傾向にあることが認められる。

(15) 自治会の活動にはどのような意義があると思われますか。(複数回答可)

(※令和２年度アンケートでは「あなたが自治会に入って良かったと思うことは何ですか」との質問を行っている。)



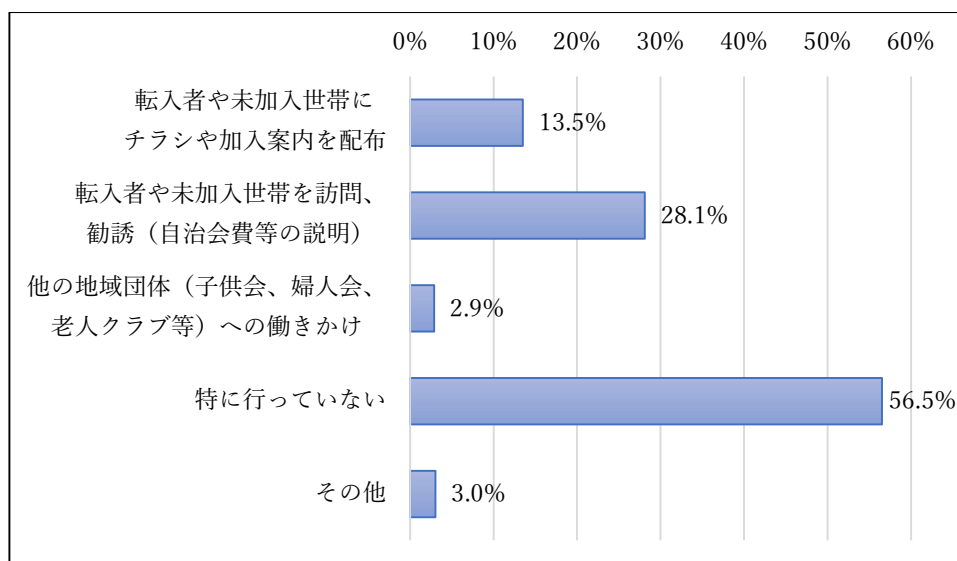
【調査結果から】

前回調査と質問内容に若干の差異があるが、令和２年度の調査と比較して、各項目とも増加しており、中でも「見守りの目が増える」と「災害時の連携が強化される」が大きく増加した。自治会活動の意義については各項目とも依然高い傾向が認められる。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・地域住民の相互扶助の意識向上
- ・生活に必要なインフラ維持、清掃活動などによる環境美化・保全
- ・地域の今後を考える機会になる

(16) 自治会への加入の働きかけで行っている取組みは何かありますか。(複数回答可)



【調査結果から】

自治会加入の働きかけとして、概ね半数が「特に行っていない」との回答であった。一方では、転入者や未加入世帯にチラシの配布や訪問等を行うと回答した自治会も約3割あり、加入率の向上に努めていることが認められる。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

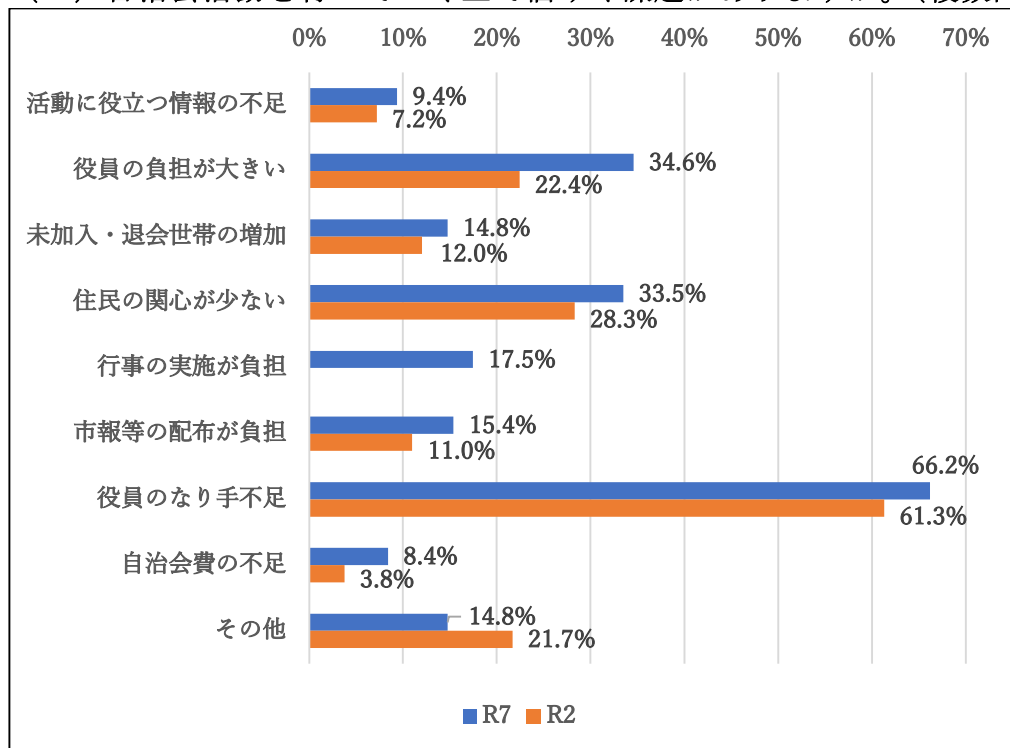
- ・イベント等を行う際には、案内をする
- ・転入者に対しては不動産屋が勧めてくれる
- ・花見や懇話会等、加入したくなるような催しを企画

(17) 自治会の退会を希望する方を引き留めるために行っている取組みや対策があればご記入ください。

【調査結果から】

- ・「特に取組みを行っていない」や「会長に就任してから退会者がいない」といった回答を除くと、全体の約1割程度の回答があった。
- ・多い回答としては、「話し合い等による説得」で、「自治会の役割や意義、活動内容」、「ごみステーションは自治会活動により維持されている」等の説明を行ったり、自治会加入促進マニュアルを活用して説明する例もあった。
- ・退会の事情を聞いて、希望をできるだけ取り入れるようにしたり、高齢等の事情によっては役員等の持ち回りを免除したりすることで、負担がかかりにくくするという回答もあった。また、非会員という扱いで通常の会費とは別料金を設定する例もあった。

(18) 自治会活動を行っていく上で悩みや課題がありますか。(複数回答可)



【調査結果から】

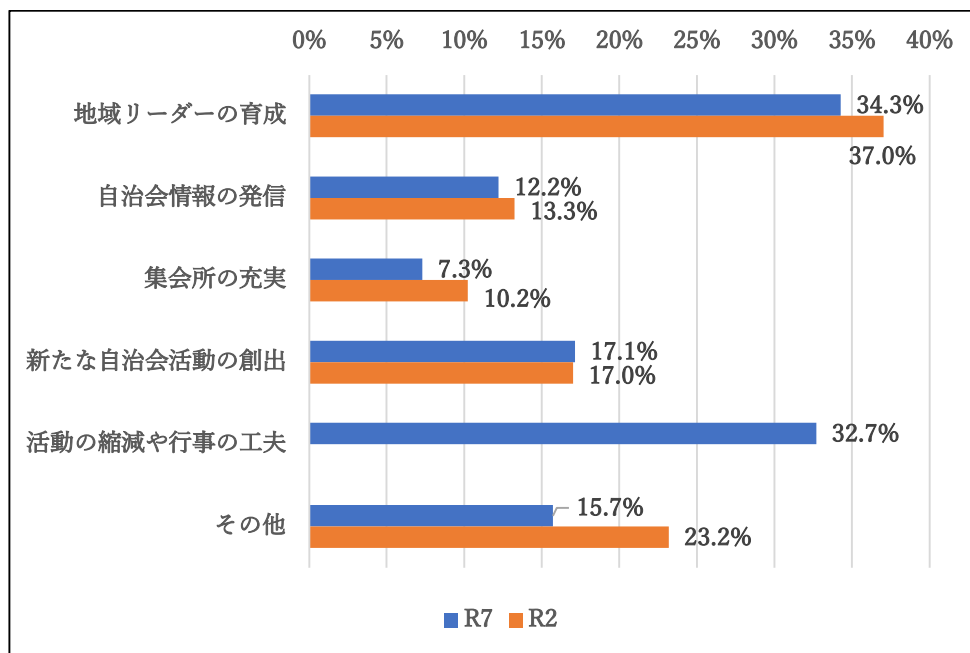
どの項目においても令和2年度の調査と比較して増加している。特に「役員のなり手不足」が66.2%と最も多く、次いで、「役員の負担が大きい」が34.6%、「住民の関心が少ない」が33.5%となった。「役員の負担が大きい」は、令和2年度の調査と比較して、12.2%の増加となった。自治会に対する関心度の低下や役員のなり手不足が、自治会の負担増となっていることが推察される。

※「行事の実施が負担」については令和2年度の調査では選択肢にない新たに追加した項目。

○「その他」として記載された主な内容は、下記のとおり。

- ・「高齢化」という言葉が最も多く、ここから派生して、「地域の草刈、公園、集会所等の維持管理の負担増」や、「自治会運営そのものの負担増」、「住民・会員の減少、空き家の増加」といった回答であった。
- ・「自宅が特定しにくく届け物が届けられない。表札を出さない家が増えてきた」、「電話をかけても疑われたり、電話番号を聞きづらい」といった個人情報保護の観点からの悩みもあった。
- ・「自治会未加入者のゴミ出しに対する指導」、「子供世代(30～50歳代)が自治会活動に無関心」、「宗教的行事との関り」などの回答があった。

(19) 問(18)の悩みや問題を解決するために必要だと思うことは何ですか。(複数回答可)



【調査結果から】

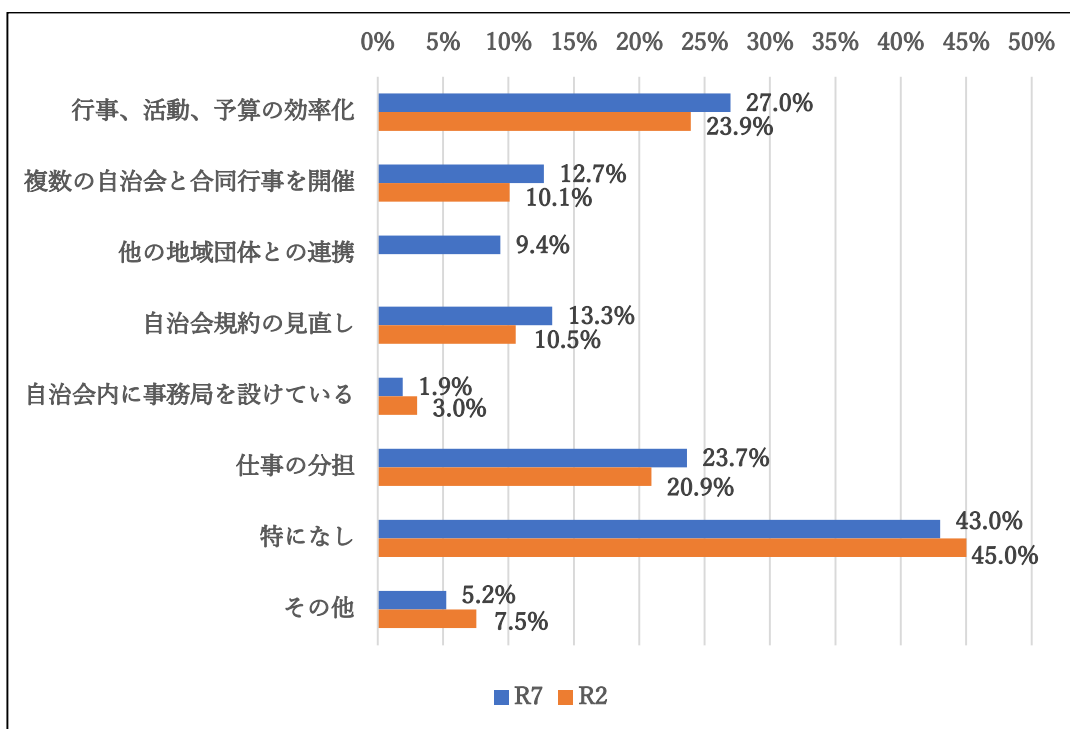
「地域リーダーの育成」が34.3%と最も多いが、令和2年度の調査と比較して、2.7%の減少となった。

※「活動の縮減や行事の工夫」については令和2年度の調査では選択肢にない新たに追加した項目であるが、32.7%と高い割合となった。前問の役員の負担軽減のための対策と推察される。

○「その他」として記載された主な内容は、下記のとおり。

- ・行政からの政策的・経済的な支援や協力が必要といった回答が多く、具体的な支援や協力の内容として、「自治会の重要性のPRを地域住民に行ってほしい」といった内容であった。
- ・「難しい」、「どうしようもない」、「特になし」といった、課題解決が困難である回答も多かった。
- ・「移住者」や「新規入居者」をはじめ、「若い人」の新規参入を強く望む回答も多く寄せられた。

(20) 自治会運営の見直しや工夫について、貴自治会が行っている取組みは何ですか。(複数回答可)



【調査結果から】

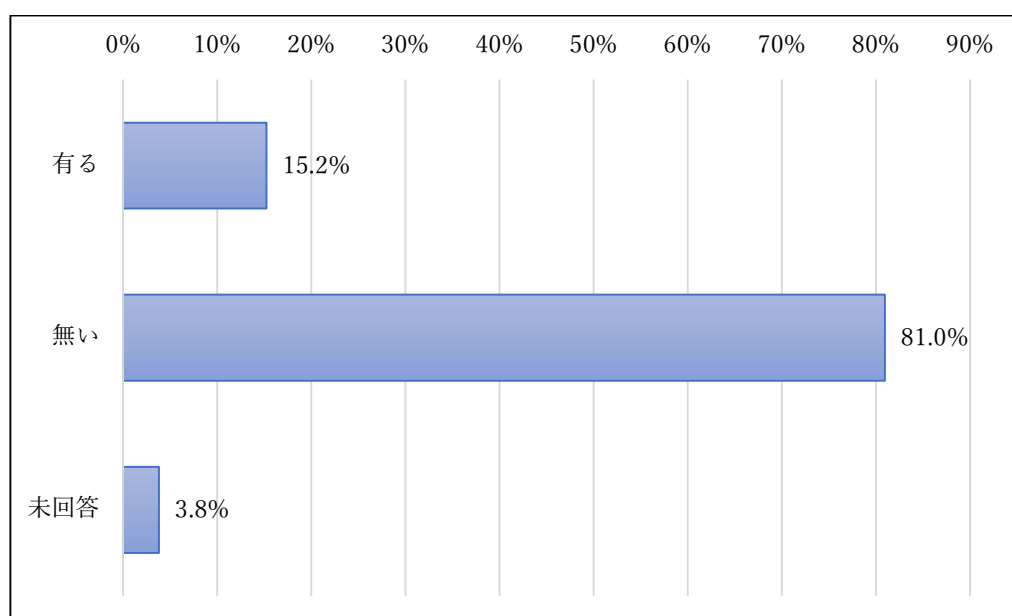
「特になし」が 43.0%と最も多いが、令和 2 年度の調査と比較して 2.0%の減少となった。次いで、「行事、活動、予算の効率化」が 27.0%で 3.1%の増加となった。全体的に取組項目の割合は増加しており、自治会の運営見直しに対する関心の高さが認められる。

※「他の地域団体（子供会、婦人会、老人クラブ等）との連携」については令和 2 年度の調査では選択肢にない新たに追加した項目。

○「その他」として記載された主な内容は、下記のとおり。

- ・「役員、後継者の育成」や「自治会内への事務局、執行部の設置計画」など、将来を見据えて、内部の体制を見直しているという回答が多かった。また、「景品を用意したゲームを企画するなど、自治会に加入していてよかったと思われる工夫」をしている例もあった。
- ・「かわら版による自治会活動の情報共有化」、「自治会役員への女性の登用」、「自治会連合会からの指導」などの回答もあった。

(21) 自治会の解散や統合について検討したことはありますか。



【調査結果から】

15.2%の自治会が何らかの理由により「解散や統合を検討したことがある」ことが認められる。

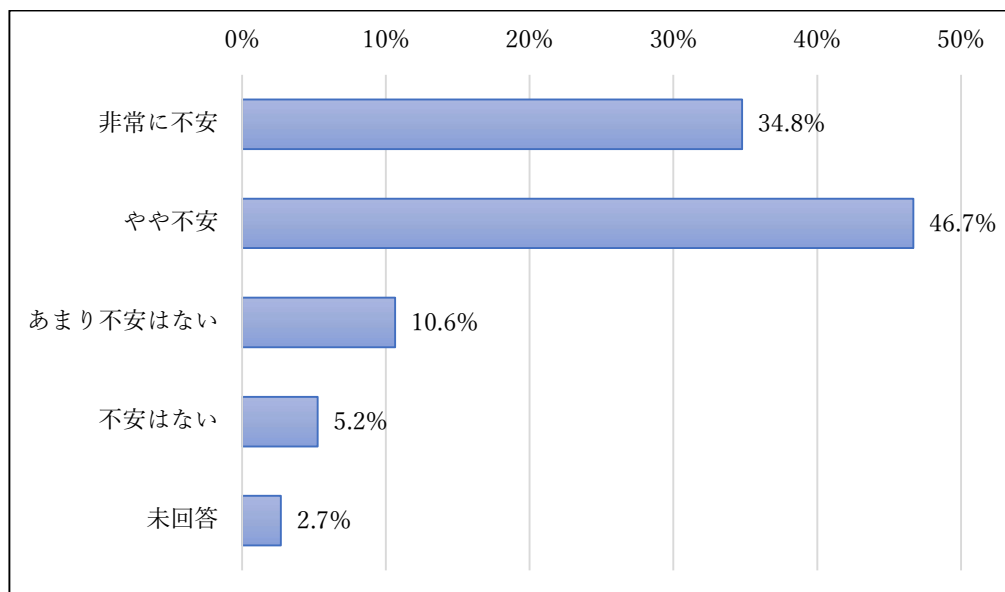
○解散や統合を検討したことの自治会の主な理由

- ・「役員のなり手・担い手の不足」と「世帯数・人員の減少」が最も多い。
- ・次いで、「高齢化」や「会員の協力が得られない」、「他団体や連合自治会との共同活動に意義を見出せない」などの回答もあった。
- ・「解散を検討したことはあるが、防犯灯の維持管理や業務委託等、整理すべき事項が多岐に渡り進展しない」といった、慎重な回答もあった。

○解散や統合を検討した理由ではないが、そうならないための対策についての内容

- ・隣接する自治会との統合
- ・高齢化により班編成の変更を検討する
- ・自治会を解散する前に、休止し、必要になれば再開する

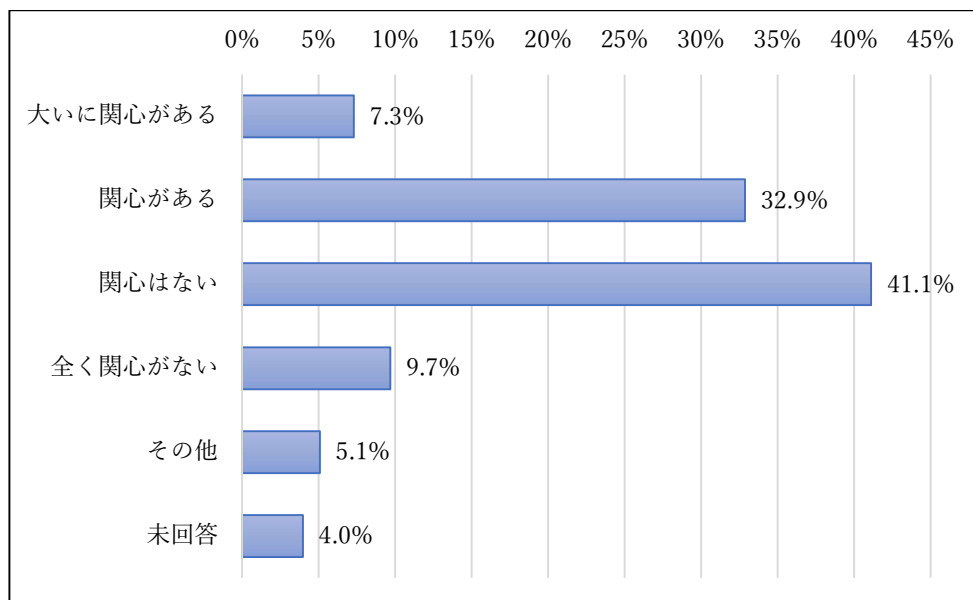
(22) 将来の自治会運営に対する不安はありますか。



【調査結果から】

「非常に不安」、「やや不安」を合わせると 80%を超え、大多数の自治会が将来に不安を感じていることが認められる。「あまり不安はない」、「不安はない」とした自治会は、15%程度に留まった。

(23) 自治会活動に電子化・デジタル技術を活用することに関心がありますか。



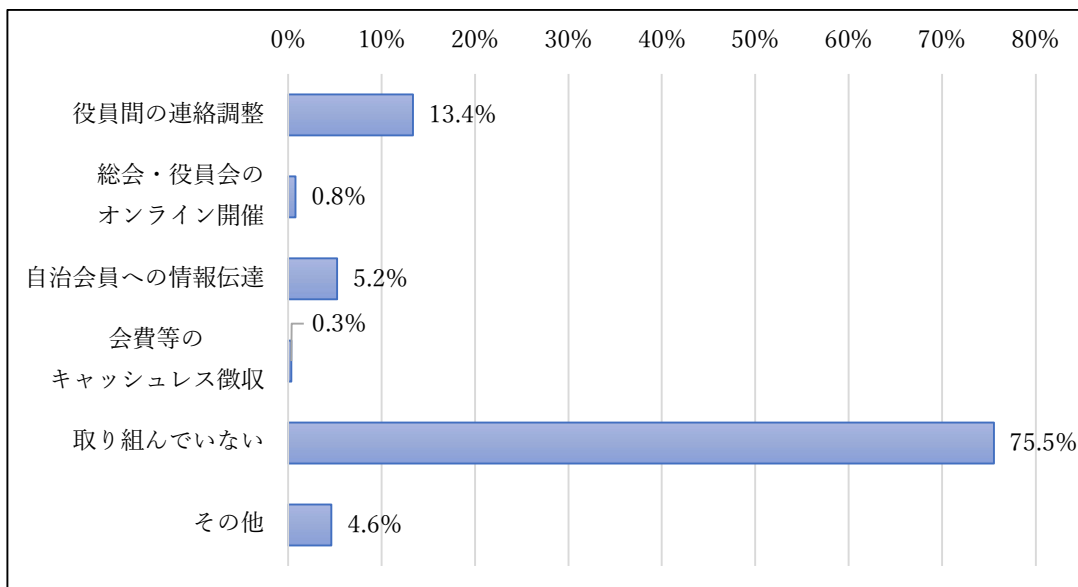
【調査結果から】

「大いに興味がある」と「興味がある」を合わせて40.2%、「興味はない」と「全く興味がない」を合わせて50.8%であり、意見が二分されることが認められる。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・「高齢であること」や「技術・知識不足」が理由で、ほとんどが導入に対し消極的な意見であった。
- ・「個人的には興味がある」や「パソコンで事務を行ったり、LINEを導入したり、ある程度のデジタル化は必要」としつつも、基本的には難しいとの回答であった。
- ・「直接会って、話をする事で仲間意識が生まれる」と「アナログならではの良さがある」とのデジタル化への弊害に関する意見もあった。

(24) 自治会活動に電子化・デジタル技術を活用している取組みがありますか。 (複数回答可)



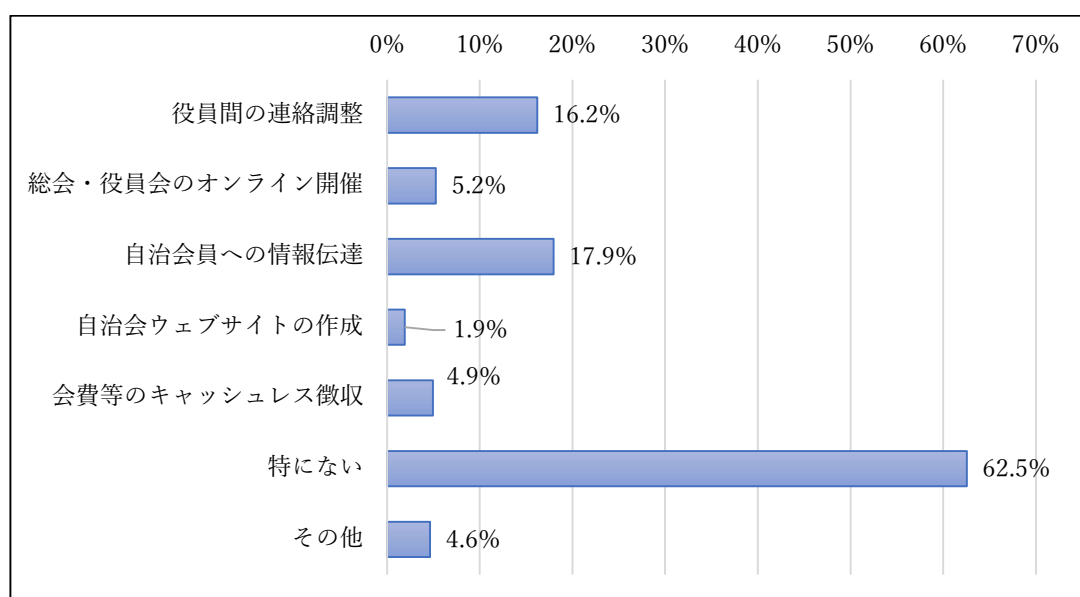
【調査結果から】

自治会の約4分の3が「取り組んでいない」と回答しており、電子化・デジタル技術を活用している自治会は少数であることが認められる。その中で、活用している取組で多いのは、「役員間の連絡調整」と「自治会員への情報伝達」であった。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・「役員間の連絡調整」や「自治会員への情報伝達」と類似するものであるが、「SNSを活用したグループを作成する」等の回答が多かった。ただし、多くが一部の役員や、子育て世代、ボランティア参加者等に限定されたものであった。
- ・「パソコンを使用して資料を作成・配布」、「議事録などをデータとして保存」、「自治会活動をDVD化する」や、「総会において、プロジェクターを使用する」等の回答もあった。

(25) 自治会活動に電子化・デジタル技術を活用したい取組みがありますか。
(複数回答可)



【調査結果から】

「特にない」と回答した自治会が半数を超えている。活用したい取組については、前問と同傾向で「役員間の連絡調整」、「自治会員への情報伝達」が一定の割合を占め、「総会・役員会のオンライン開催」や「自治会ウェブサイトの作成」、「会費等のキャッシュレス徴収」は少数であった。

○「その他」として記載された主なものは、下記のとおり。

- ・「高齢であること」や「技術・知識不足」が理由で、ほとんどが導入に対し消極的な回答であった。
- ・「既存の民間サービスで十分」、「予算、税金を投入してまでのメリットはない」といった回答もあった。
- ・「若い世代は忙しいので電子化の方が良い」、「会計帳簿等をデジタル化する」、「何ができるのか検討する」といった前向きな回答もあった。

(26) その他、どんなことでも結構ですので、貴自治会で行っている取組み等やご意見等がありましたらご記入ください。

自由記入欄を「行政への要望・意見に関すること」、「自治会運営の困りごと」、「今取り組んでいること、取り組みたいこと」に分類し整理した。

1 行政への要望・意見に関すること

(1) 行政からの情報開示や助言

- ・自治会活動が充実している事例や自治会活動への意識を高めるための活動や取組みが知りたい。
- ・自治会加入のメリットや自治会のビジョンを示してほしい。
- ・自治会同士や地域団体との意見交換の場を設けてほしい。
- ・個人情報の管理が問題。名簿の作成についてよい方法があれば知りたい。
- ・このアンケートの結果を送付してほしい。

(2) 行政による経済的・技術的な支援

- ・敬老会や集会所、私道の工事等に係る補助金の整備・増額。
- ・高齢化により地域の清掃が困難になりつつあるので、対策を立ててほしい。
- ・公園の芝の管理、清掃に対する手当の増額を希望。
- ・集会所の維持が負担となっているので、市の所有としてほしい。
- ・公道に伸びる雑草の清掃・見回りを市で行ってほしい。
- ・高齢者が引きこもらず外とのつながりが持てる仕組みを考えてほしい。
- ・広報紙等配布物はできるだけデジタル化してほしい。
- ・広報紙の折り込みチラシが多いので減らしてほしい。
- ・コピー機の使用など自治会関係の事務経費を軽減してほしい。
- ・自治会運営のIT化の推進に係る支援。
- ・自治会行事等における負担の軽減や、独居老人が安心して暮らせる地域の仕組みづくりの整備や支援

(3) 行政や職員の働きかけ等による支援

- ・地域の親睦会や、自治会を対象とした様々な研修の開催。
- ・転入者に対して自治会に必ず入り、地域に協力してほしい旨指導してほしい。
- ・ごみ捨て問題について、ゴミ捨て場に関する条例の制定や自治会加入の義務付け。
- ・自治会の取り組みにおける行政のサポート。
- ・自治会の現状について、実際の声を現場で聞いてほしい。

(4) 行政に対する意見

- ・市職員全員の自治会加入、地域活動の積極参加をお願いしたい。
- ・市に対する要望事項について、早期に対応処置してもらいたい。

- ・行政の自治会加入促進が中途半端。
- ・市において「自治会は任意団体なので加入しなくてよい」という説明は止めてほしい。
- ・自治会運営の基本はデジタル化ではなく、住民同士の直接的なふれ合い、見守り。

2 自治会運営の困りごと

自治会運営の困りごととして、「高齢化」、「人手不足」、「負担の増加」、「関心が低い」といった言葉が多く、これらごとに回答を整理した。

(1) 高齢化による困りごと

- ・デジタル化に対応できない。最新のニーズに応えられない。
- ・定年延長により地元活動や行事への協力ができなくなる。
- ・道路、河川、公園の清掃活動ができなくなる。
- ・従来どおりの行事を行う事が困難になっている。
- ・自治会が成り立たなくなり、限界集落となる。
- ・新たな活動による活性化ができない。
- ・草刈や水道の管理をシルバー人材センターに依頼している。
- ・災害時を想定した助け合いの訓練を行う必要性がある。

(2) 人手や担い手不足による困りごと

- ・役員の確保が困難である。
- ・会長を1年ごとの輪番制としているが、自治会の動きが把握できない。
- ・会長に過度な責任がのしかかる。
- ・体調や家庭の都合等で会合や行事を欠席することに罪悪感を覚える。
- ・行事や清掃を周辺自治会と協力しつつ、最終的には自治会を統合すべき。
- ・退会者が増えて活動の協力も減ったため、役員選出等が困難になった。
- ・役職の固定化で交代が困難となっている。
- ・会長の選出で人間関係が悪化した。

(3) 自治会の負担増加による困りごと

- ・自治会費が安く支出が増えたりすることで、経済的な余裕がない。
- ・広報紙が月2回から1回に変わったことで、重量が増した。
- ・個人情報の取扱が厳しく情報が入手しづらい。
- ・寄付金の種類が多い。
- ・集会所の維持費や負担金（地区社協、自治会連合会）が負担となっている。
- ・一戸あたりの費用負担増が課題。
- ・デジタル化で費用負担が増加する。

(4) 住民の関心の低さによる困りごと

- ・自治会の必要性を尋ねられて説明するが、納得が得られない。
- ・ゴミ出し等、自治会に加入していなくても生活に困らない。
- ・任意加入ではなく義務付けるべきである。
- ・若い世代は共働きで、子育てや子供のクラブ参加で自治会に関心がない。
- ・自治会活動が形がい化している。自治会加入の意義があまり感じない。
- ・未加入者が増加している。未加入者との不公平感が生じる

3 今取り組んでいること、取り組みたいこと

今取り組んでいること、取り組みたいこととして、「交流・親睦」、「情報共有・発信」、「業務改善・経費削減」に分類して回答を整理した。

(1) 交流・親睦

- ・総会後の懇親会や花見等の行事で親睦を図っている。
- ・班の垣根を越えての清掃活動を行うことで交流を図っている。
- ・災害時は電気が使えなくなることもあるので、アナログの横のつながりも必要。
- ・サロンや健康体操、長寿会、子ども会などを定期的の実施し、交流を図っている。
- ・自治会長、民生委員、福祉員が高齢者宅へ訪問し、意見交換を行っている。
- ・有事の際に、寝たきりの避難困難者がいないか、また、いればどのような手段が必要か模索している。
- ・自治会、民生委員、福祉員、子供会等が一体となって。地域活動ができる体制づくりに奮闘中。
- ・高齢者ボランティアが活躍し、高齢者が孤立しないよう配慮してもらっている。
- ・住民の日常の絆が重要と考え、公園トイレ清掃の謝礼金を活用して一部の行事の復活を果たした。
- ・生涯独身の人の生存確認を取れる方法を考えたい。
- ・サロン活動が活発で、毎週メンバーによる自主的な清掃活動を行っている。

(2) 情報共有・発信

- ・子育て世代への意識の醸成を図りたい。
- ・避難訓練、防災訓練に組み組みたい。いざという時の隣近所のつながりの安心感を伝えていきたい。
- ・移動スーパーや食品の宅配サービス等の情報を共有し、利用されるようお知らせしている。
- ・大学が作成した無料掲示板（電子）を連絡用ツールとして確立している。
- ・役員の仕事内容の年間スケジュールを作成。
- ・草刈り機など自治会所有の備品の貸し出しをしている。
- ・空き家の問題など、個人より自治会として行動した方がより早く解決に近づく。
- ・自治会総会等の開催ポスターは、日本語だけでなく英語や中国語でも記載している。

- ・高齢者の夕方散歩に対する注意喚起の徹底。
- ・防犯連絡会を設置し、ポスターや被害情報の共有で集团的防犯に努めている。

(3) 業務改善・経費削減

- ・自治会運営の改善点を、会議で発言してもらっている。
 - ・新たに役員報酬を設定した。
 - ・プロパンの解約やLED化により経費を節約した。
 - ・電子掲示板や連絡調整ツールを導入した。
 - ・公園のトイレ清掃はボランティアを募り、謝礼金は還元している。
 - ・自治会を町単位で集約していったほうが効率的である。
 - ・行事、催事を維持していくための人員確保ができるよう、周辺の自治会と協力している。
- 今後統合していく必要もでてくると思う。

岩 国 市 自 治 会 ア ン ケ ー ト 報 告 書

作成 令和 8 年 6 月

編集 岩国市

担当連絡先 〒740-8585 岩国市今津町一丁目 14 番 51 号

岩国市役所 市民協働部 地域づくり推進課 地域づくり推進班



0 8 2 7 - 2 9 - 5 0 1 5 (直通)



0 8 2 7 - 2 2 - 2 8 6 6



kyoudou@city.iwakuni.lg.jp